

3年連続進路決定率100%

大学進学も公務員になることも……夢物語ではありません！
先輩達は実際に夢を叶えています！

進路の状況

平成29年度 卒業生の進路状況



●近年の主な就職先

- 北海道職員(H27) ■自衛官(H27、H29)
- 北海道エネルギー(H27) ■ラルズ(H28)
- 札幌建設給食事業協同組合(H27)
- 第一海運(H28) ■道民共済(H29)

●近年の主な進学先

- 札幌学院大(H27) ■北海道国大(H28、H29)
- 北海道科学技術大学(H27)
- 札幌農工会議所専門学校(H28)
- せいとく介護こども福祉専門学校(H28)
- 光塩調理製菓専門学校(H28、H29)

諸費用

平成30年度実績

入学時諸納金	諸納金(12ヶ月)	合 計
現金 39,730円	9,150円×12	151,630円
収入証紙 2,100円		

※入学時諸納金には、学校指定ジャージ・靴の代金も含まれます。

※月別諸納金には、修学旅行積立金や給食費も含まれます。

奨学金

本校には、さまざまな奨学金を受けている生徒がいます。奨学金には、貸与型(返済が必要)のものほか、西高を支援する組織である「一般財団法人札幌西高会」などの給付型(返済が不要)のものもあります。ほとんどの奨学金が4～5月の申込となっています。

＜奨学金の一例＞

奨学金名	給付・貸与	給付額・貸与額
(一般)札幌西高会奨学生	給付	年間 12万円
日本学生支援機構	貸与	月額5～10万円

沿革

本校定時制は、大正12年5月に札幌中等夜学校として開校し、昭和18年4月に北海道立札幌第二中学校と改称されるなどの変遷を経て、昭和25年4月に北海道札幌西高等学校定時制となり、創立90周年を数える歴史と伝統ある学校です。

これまでの歩みの中で、卒業生は5,219名を数え、生徒にとって魅力のある、また、地域に開かれ信頼される学校づくりの推進に努めています。

夜学の父「北山新太郎」

北山新太郎は札幌で漆器関係の卸問屋を営んでいました。苦勞してたたき上げた北山は硬骨漢であり、人情家でもありました。

北山は、学校が財団法人化申請のために金銭に困っているという話を聞き、即座に必要な金額を寄付する考えを伝えました。北山は所有する千歳の山林200ヘクタールを無条件で学校に寄付することを申し出たのです。基本金の3万円はこうして確保することができたのです。

また、財団法人化の許可を出さない文部省(現文部科学省)に乗り込み、学務局長に直談判に及び、文部省許可を実現しました。

こうして昭和9年(1934年)三月、財団法人・札幌夜間中学校が設立され、就業年限が5年制となりました。

北山は、その後も何かと夜間中学のことを気遣い、戦時中も時々学校に現れては授業を参観し、生徒を励まし続けました。この「夜学の父」の思いは戦後、西高定時制の「北山新太郎顕彰学会賞」に受け継がれており、これまで67名(平成28年3月現在)の生徒が表彰を受けています。



学校教育目標

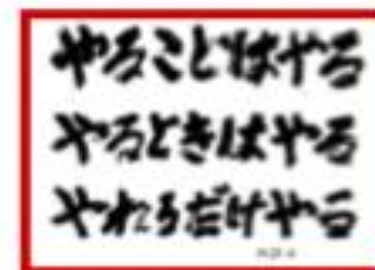
- (1) 自ら考え、自ら学び、自ら鍛える教育
- (2) 人間相互の理解と信頼を深め、調和的成長をめざす教育
- (3) 責任を重んじ、豊かな社会性と公正な判断力を養う教育

校訓



「自由」とは、真理と正義を追求し、人格の完成を目指すための基本的態度
「自律」とは、その自由を支える精神
「創造」とは想像力の基盤となる高い知性
「創造」とは人間の平和と繁栄を求め、豊かな文化をつくりあげる力

西高実行精神



先輩たちから脈々と受け継がれてきた校訓と西高生なら誰でも知っている合い言葉です